

第2期第7回 帯広市産業振興会議（第1グループ）次第

日時：平成24年8月23日（木）14:00～

場所：帯広市役所庁舎10階第5B会議室

I. 開会

II. 会長挨拶

III. 協 議

1. 会議の進め方について

2. 意見交換

- (1) 「2. 産業人・担い手の育成」について
- (2) 「3. ものづくり産業の振興」について
- (3) 「4. 産業基盤の強化」について

IV. その他

V. 閉 会

- 配付資料
- ・ 会議の進め方について
 - ・ 第6回産業振興会議におけるご意見等一覧（第1グループ）
 - ・ 第6回産業振興会議議事録要旨（案）

会議の進め方について

1 ねらい

別紙一覧に基づき、「優先度・目標貢献度」「具体性・実現性」「中小企業者との協働」の3つの視点から評価を行い、提言事業の絞り込みを行う。

2 会議の進め方

- ① 別紙一覧の3つの視点欄について、あてはまるものに「○」を記入いただく。
 - ② 各委員がつけた「○」の数を集計する。
 - ③ 集計を踏まえて議論を行い、以下の3つに整理する。
 - ア) 提言事業：平成25年度の事業化に向けて深掘りを行うもの
 - イ) 課題項目：来年度実施するビジョン見直しの参考とするもの
 - ウ) 検討項目：今後の取扱いについて改めて検討するもの
- ※ 各テーマについて、①～③を繰り返す。
- ※ 提言事業以外の項目を含め、ビジョン見直しに向けた「提言書」にまとめる。

3 スケジュール

8月17日（金）	第7回会議（第2グループ、課題の絞り込み）
8月23日（木）	第7回会議（第1グループ、課題の絞り込み）
9月中	第8回会議、第9回会議（解決方策の検討）

第6回産業振興会議におけるご意見等一覧(第1グループ)

【2. 産業人・担い手の育成】

No.	委員名	内 容	優先度・目標貢献度	具体性・実現性	中小企業者との協働
2-1	小 倉	フードバレーとかち人材育成事業の継続と周知強化			
2-2	河 西	求職者支援訓練の充実			
2-3	河 西	女性の就労支援(保育・託児所等福祉の充実)			
2-4	河西・原口	就職したいと思える魅力あるまちづくり			
2-5	河 西	帯広市の産業の特徴・優位性の明確な発信			
2-6	仙北谷	想いを形にするためのサポートのしくみづくり			
2-7	谷 脇	高等教育機関の充実(看護系の大学など)			
2-8	中 田	企業体験会など実務に即したインターンシップの実施			
2-9	原 口	産学官連携の積極的な発信			

※アドバイザー・オブザーバーのコメント

No.	氏 名	内 容
A2-1	大 貝	インターンシップでは、経営者になぜこの仕事に打ち込んでいるかや、今後の夢について語ってもらうことが重要。
A2-2	大 貝	まちの魅力や強みを共有し、外に向けて情報発信していくことが重要。
A2-3	河 合	食に関する技術経営(MOT)教育の拠点としての整備

第6回産業振興会議におけるご意見等一覧(第1グループ)

【3. ものづくり産業の振興】

No.	委員名	内 容	優先度・目標貢献度	具体性・実現性	中小企業者との協働
3-1	小 倉	産学官連携の推進(商品開発、販路拡大へ)			
3-2	小 倉	公共の加工場における営利目的での使用許可			
3-3	河 西	市役所に地域産物・商品の PR 部門			
3-4	河 西	十勝ブランドのPRの徹底			
3-5	河 西	公共施設での地場産品の徹底活用			
3-6	仙北谷	食関連の特徴ある加工品づくりを通じた雇用創出			
3-7	仙北谷	製品化に向けた試行錯誤をサポートするしくみづくり			
3-8	仙北谷	個々の農業者による独自の販路区拡大への支援			
3-9	谷 脇	販路確保を含めたトータルコーディネート支援組織			
3-10	中 田	2次加工まで行う工場の拡充			
3-11	原 口	食・農に特化したものづくりの促進			

※アドバイザー・オブザーバーのコメント

No.	氏 名	内 容
A3-1	大 貝	十勝の農畜産物は素材として売れるので意識転換が難しい。しくみづくりをどうにかできないか。
A3-2	大 貝	個々の事業者が何を考え、何をやりたがっているか把握することが必要。
A3-3	河 合	地域特産品の専門営業マンを常置し、全国、海外への販路開拓の推進

第6回産業振興会議におけるご意見等一覧(第1グループ)

【4. 産業基盤の強化】

No.	委員名	内 容	優先度・目標貢献度	具体性・実現性	中小企業者との協働
4-1	小 倉	企業誘致と都市計画の整合(コンパクトなまちづくり)			
4-2	河西・中田・谷脇	立地企業への優遇措置(工業用地の無償貸付)			
4-3	河 西	立地企業への優遇措置(資産税軽減、利子補給)			
4-4	仙北谷	物流システムづくり(物流コスト抑制、企業育成など)			
4-5	谷 脇	立地企業への優遇措置(下水道料金の軽減)			
4-6	谷 脇	地域の優位性の活用(水など)			
4-7	中 田	立地企業への優遇措置に関する積極的な周知			
4-8	原 口	大手よりも中小企業に力点を置いた企業誘致			
4-9	原 口	帯広への立地に必然性がある企業をターゲットとした誘致の推進			

※アドバイザー・オブザーバーのコメント

No.	氏 名	内 容
A4-1	大 貝	企業誘致に当たっては、簡単に撤退できないような条件等を設けるべき。
A4-2	新井田	企業誘致に当たっては、広く浅くよりもピンポイントでターゲットを定めることが必要。
A4-3	河 合	食産業誘致のための優遇措置整備と、企業誘致専門スタッフの常置